
「Endovascular Aneurysm Repair (EVAR) 後の Type 2 ないし Type 5 endoleak に対して Vasa vasorum embolization を企図した 7 例の検討」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの画像および電子カルテデータを用いた以下の研究を実施いたします。

本研究は、埼玉医科大学国際医療センター臨床研究 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2018 年 8 月 1 日から 2023 年 5 月 31 日の期間に埼玉医科大学国際医療センターを受診し、腹部大動脈瘤に対してステントグラフト治療が施行され、その後も動脈瘤径が拡大し vasa vasorum 塞栓術で追加治療をした患者様が対象です。

2. 研究の目的

ステントグラフト治療をしても動脈瘤径が拡大する場合、vasa vasorum が原因になる場合があるため、それを塞栓することで動脈瘤の治療ができるか確認します。

3. 研究期間

病院長の許可後～2023 年 12 月 31 日

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

過去に vasa vasorum 塞栓術を行った患者様の画像データおよび電子カルテデータを参照して解析します。

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学国際医療センターにおいて、研究責任者である高橋大雄が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

過去に vasa vasorum 塞栓術を行った患者様の画像データおよび電子カルテデータを参照して解析します。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学国際医療センター 画像診断科 高橋大雄（研究代表者）

4. 試料・情報の管理責任者

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

ご希望があれば、他の患者さんの個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲で、研究計画書や研究の方法に関する資料を閲覧することができますので、以下の連絡先までご連絡ください。

埼玉医科大学国際医療センター 画像診断科 高橋大雄

住所：〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

電話：042-984-4111（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：

Endovascular Aneurysm Repair (EVAR) 後の Type 2 ないし Type 5 endoleak に対して Vasa vasorum embolization を企図した 7 例の検討

○研究責任者：埼玉医科大学国際医療センター 画像診断科 高橋大雄